

ウミガメ保護監視事業の実施結果

1. 事業実施団体

NPO 法人屋久島うみがめ館

2. 事業内容

- ・「永田浜ウミガメ観察ルール（以下、観察ルール）」の普及啓発、利用実態調査等
- ・ウミガメの救出活動

3. 事業実施場所

四ツ瀬浜、いなか浜、前浜

4. 事業実施期間、実施人数

・四ツ瀬浜

期 間：5月1日～8月31日（期間中の34日）

※5月は7日、6月は2日、7月は14日、8月は11日実施

時 間：19:30～23:30 まで（4時間）

実施人数：1名

・いなか浜

期 間：5月1日～14日

時 間：19:30～23:30 まで（4時間）

実施人数：2名

・前浜

期 間：5月1日～14日

時 間：19:30～23:30 まで（4時間）

実施人数：1名

5. 結果

・四ツ瀬

利用者の動向

- ・調査期間中の利用者数合計は116人（うち観光客67人）。
- ・昨年度と比較して、利用者数合計が104人増加。
- ・時間帯別では、19:30～20:00、21:00～22:00 頃の利用者が多い（図1）。

観察ルールの説明状況及び利用者の特徴

- ・観察ルールの説明をして、浜から出た人はほとんどいなかった。
- ・四ツ瀬浜では、観察ルールを知った上で観光客を連れてくるガイドや地元の方が多く、観察ルールで「浜の立入りをご遠慮いただいていること」に法的拘束力がないことも知っているようだった。
- ・四ツ瀬浜は観察ルールの対象外という認識の人もいた。

不適切な利用

- ・浜に立ち入った人は多かった（実数不明）。
- ・7月14日に4名によるライトの使用が見られた。

・ いなか浜

利用者の動向

- ・ 調査期間中の利用者数合計は 406 人（昨年度と比べて 342 人の増加）。
- ・ 昨年度は 5 月 5 日頃までの利用者が全体の 7 割程占めていたが、本年度は 4 割程となり、期間中の利用者の傾向に大きな偏りはなかった（図 2）。
- ・ 20:00 時以降の利用者が全体の 9 割以上を占めた。

観察ルールの説明状況及び利用者の特徴

- ・ ウミガメ観察が目的で来た利用者で、観察ルールの説明をして、浜から出た人はほとんどいなかった。
- ・ 監視を行っている入口以外から浜に入る利用者がいた。
- ・ ライトを使用している利用者の多くは、観察ルールの説明するとライトを消し、観察ルールに協力してもらうことができた。

不適切な利用

- ・ 観察ルールの説明をしても、ライトを消してもらえなかったのが 1 件、カメラ撮影をやめてもらえなかったことが 1 件。

・ 前浜

利用者の動向

- ・ 浜の利用は 1 回、6 人のみ。

観察ルールの説明状況及び利用者の特徴

- ・ 浜の入口で観察ルールを説明。浜の利用はしていない。

不適切な利用

- ・ なし。

6. まとめ

- ・ 四ツ瀬浜にウミガメ観察に訪れる利用者が大幅に増加。観光客がガイドや地元の人に案内されてくるケースが見られた。
- ・ 事業実施期間のいなか浜の利用者が大幅に増加。
- ・ 事業実施期間のいなか浜は観察会等が実施されておらず、「永田浜の立入りをご遠慮いただいていること」に協力してもらうことが困難。
- ・ 事業実施期間の前浜の利用者はほとんどいない。

図 1. 四ツ瀬浜の時間帯別利用者数

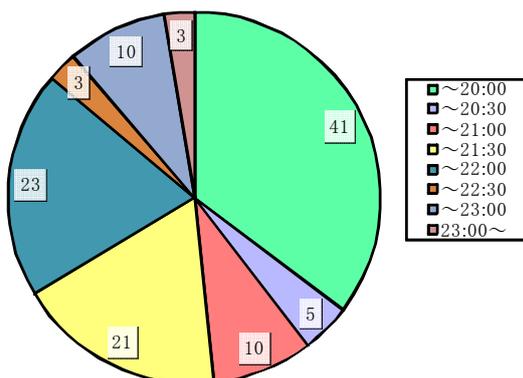


図 2. いなか浜の利用者動向

